

自衛官募集

詳しくは自衛官募集ホームページ(<http://www.mod.go.jp/gsd/jieikanbosyu/>)をご覧ください。

申 問 自衛隊熊本地方協力本部 菊池分駐所 ☎ 0968-24-2772



募集種目	受付期間	試験日	受験資格
航空学生	7月1日(金) ～ 9月8日(木)	1次 9月19日(月・祝) 2次 10月15日(土)～20日(木) 3次 (海)11月18日(金) ～12月14日(水) (空)11月12日(土) ～12月15日(木) 最終合格発表 令和5年1月17日(火)	(海)18歳以上23歳未満の人 (空)18歳以上21歳未満の人 ※高卒者(見込含)または高専3年次修了者 (見込含)
一般曹 候補生	7月1日(金) ～ 9月5日(月)	1次 9月15日(木)～18日(日) 2次 10月8日(土)～23日(日) ※いずれか1日を指定します 最終合格発表 11月15日(火)	18歳以上33歳未満の人 ※32歳の方は採用予定月の末日現在、33歳に達していない人
自衛官 候補生	年間を通じて 受け付け	受付時または各自衛隊地方協力本部の ホームページにてお知らせします。 合格発表日は試験日にお知らせします。	18歳以上33歳未満の人 ※32歳の方は採用予定月の1日から起算し て3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない人

よみ人こうし

合志句会

永村 典子 選

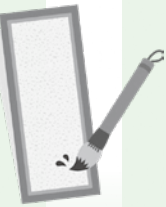
はくれんにまつ新たな時過ぎやすく
初音聞く忽ち空の晴ればれと
鳥帰る仲間と並び楽しげに
右岸行き左岸を帰る花菜摘み
水底に日差しの届く蝌蚪の紐
雲雀野に朗らかな空広がり
地震にはじまりコロナ禍の卒業式
上座より年功序列雛の膳
春炬燵時どき余生持て余す

柊短歌会

塚本 諄 選

小流れの光を浴びてクレソンの浮き根浮き根に繋る真みどり
それぞれに模様異なる羽揚げ飛ぶ鳩の群朝焼けの空
桜えび菜の花きざみいり卵雛の節句の一人賄ひ
逝きし夫好んで植えし蝦根蘭木下の蔭に群れて咲き出ず
サイコロの南瓜を入れて朝食の味噌汁の中花散る如し
食卓に木洩日ゆれて一輪のばらを挿したる瓶の清しき
「キーウ」「ブチャ」なじみもなかった都市の名が戦時下の今世界に広がる
足元に春は来てをり雨あとの庭に踏み出す一歩がゆるぶ
さざんかの香につつまれし短歌展色紙の中の夫の名見つむ
鶯の声樹上から響きくる会話の声に呼応するがに
ふわふわと何だか軽く心地よし抱えて帰る早春キャベツ
春風が青き光のなかを吹く小さき茶畑に蝶は疲れず
平明に弥生春日の昏れてゆく遠阿蘇の稜うすぐむらさき

典子 美津子 静子 聖恵 則子 好子 節代 雅美
典子 隆子 幸子 保子 紘子 津すえみ 中美代子 愛子 高橋 馬場 成子 村上紀美子 渇山 啓子 塚本 諄



合志南小学校教育目標

『郷土に誇りを持ち、未来を拓く 心豊かな子どもの育成』
～認め合い・学び合い・励まし合うことが出来る子どもいっぱい学校をめざして～

人権教育シリーズ51

合志南小学校での人権啓発教育

● 問い合わせ先 人権啓発教育課 啓発教育班 ☎(248)2399

市内のさまざまな人権に関する取り組みを紹介いたします。この機会に人権について考え、尊重し合える社会を目指しましょう。



思いやりを持った言葉で

合志南小学校の人権啓発への取り組みは、まず自分の心や行動を考えることから始めました。

児童による「なかまづくり委員会」の中で「ふわふわことばの木」(言われると気持ち柔らかくさせる言葉を書いて、木の形に貼りつけたもの)を校内に掲示し、お互いに良い気持ちになれる言葉遣いについて考える取り組みを行ないました。

認め合い

人権教育の際に自分のことを作文にし、学年の人権集会で発表を行ないました。真剣に聞いてお返しの言葉を伝える児童も多く、互いに認め合える機会になりました。

学び合い

友だちや先生、家族などへ感謝の気持ちをつづる取り組み”ありがとうの木”を全校挙げて行ないました。

励まし合う

取り組みを通じて、生活を振り返り、言葉の大切さを考え、相手の話を真剣に聴いて、お返しの言葉を言えるようになりました。互いの感謝の気持ちを身近に感じるようになり、学校がやさしい雰囲気になりました。

平和学習

昨年の6年生の修学旅行の行き先は長崎県でした。

まず、長崎についてタブレットでたくさんの資料や書籍を調べました。

原子爆弾が落とされたことを知った子どもたちは、学習の中で、「戦争を二度と起こしてはならない」「平和な世界をつくるのはわたしたち」との思いを強くしました。

そして、その思いをつなげて宣言文を作り、長崎の地で平和への願いを誓いました。子どもたちが作成した平和宣言を紹介します。

2021年 合志南小学校 平和宣言(抜粋)

原爆が奪ったものは、「命」だけではない。家族や友だち、大切な人、作り上げてきた町や家、大好きな風景、夢、希望、未来、当たり前だった日常、一瞬にして、これらをすべて原爆は奪ったのです。原爆は多くの悲しみを、苦しみを、怒りを生みしました。

私たちは、原爆や戦争の事実学び、世界中に問いかけていく必要があります。二度と同じ過ちは繰り返さない。戦争も、核兵器も、差別もなくす。これは、被爆者の変わらぬ強い思いであり、私たちが持つべき強い意志です。戦争を生むのも、核兵器をつくるのも、私たち人間がすることです。でも、私たちには、戦争を繰り返さないように、未来を変えていく力があります。

私たちの生きる「今」は、当たり前ではありません。たくさんの人々が、悲しみ、苦しみを背負いながら、強い願いを持って、今日まで築き上げてきた「今」。そんな今を、私たちは残し続けていく必要があります。だからこそ、ここ、長崎で学んだことを伝え続けます。

たくさんの人がつないでくださった希望を未来へとつないでいきます。かけがえのない命が奪われることのないよう、周りの人を大切にします。この戦争と、被爆者の思いを忘れずに、未来に残し、核兵器のない世界を実現させます。ここにいる私たち一人一人が強い意志を持って、平和な未来を創っていくことを誓います。



令和3年(2021年)10月24日
合志南小学校6年生一同